

(4) 自然環境

① 地形

本市の地形は次にあげる3つのタイプに類型されます。

丘陵地 市域北西部にみられ、京都市との境をなしています。

台地段丘 丘陵地東側を縁どるように市街地方向に緩やかな斜面が広がっています。

低地 桂川・小畑川によって形成された低地で市域東部～南部に広がっています。



西ノ岡丘陵

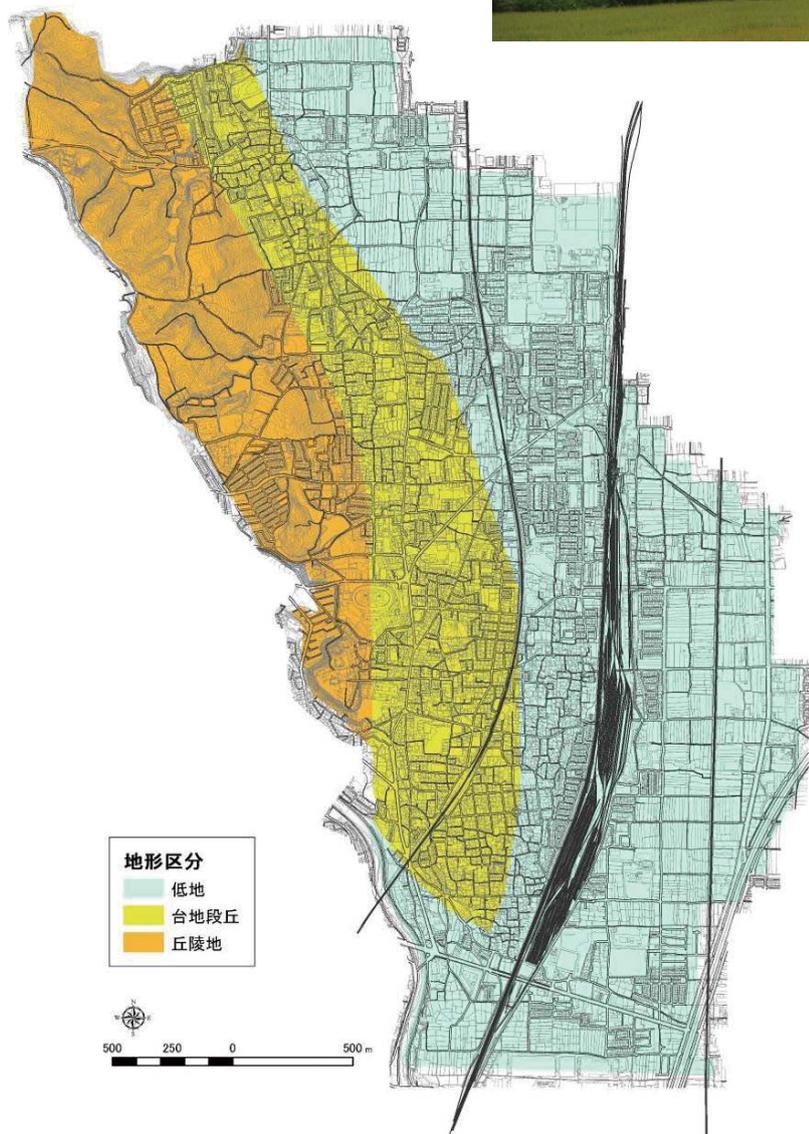


図 2-1-15 地形区分図 出典：20 万分の 1 土地分類調査 国土交通省

② 植生

鳥類や昆虫類が比較的多く確認されている西ノ岡丘陵や市内に点在するため池は、本市の自然生態系を構成する重要な要素となっています。

しかしながら、向日神社周辺やため池の周辺は、市街地の中の貴重な自然として多様な植生が残されているにもかかわらず、竹林保全の後継者不足などによる竹林の荒廃やマツ枯れ・ナラ枯れの拡大などにより植生が変質しているため、今後保全などに取り組む必要があります。

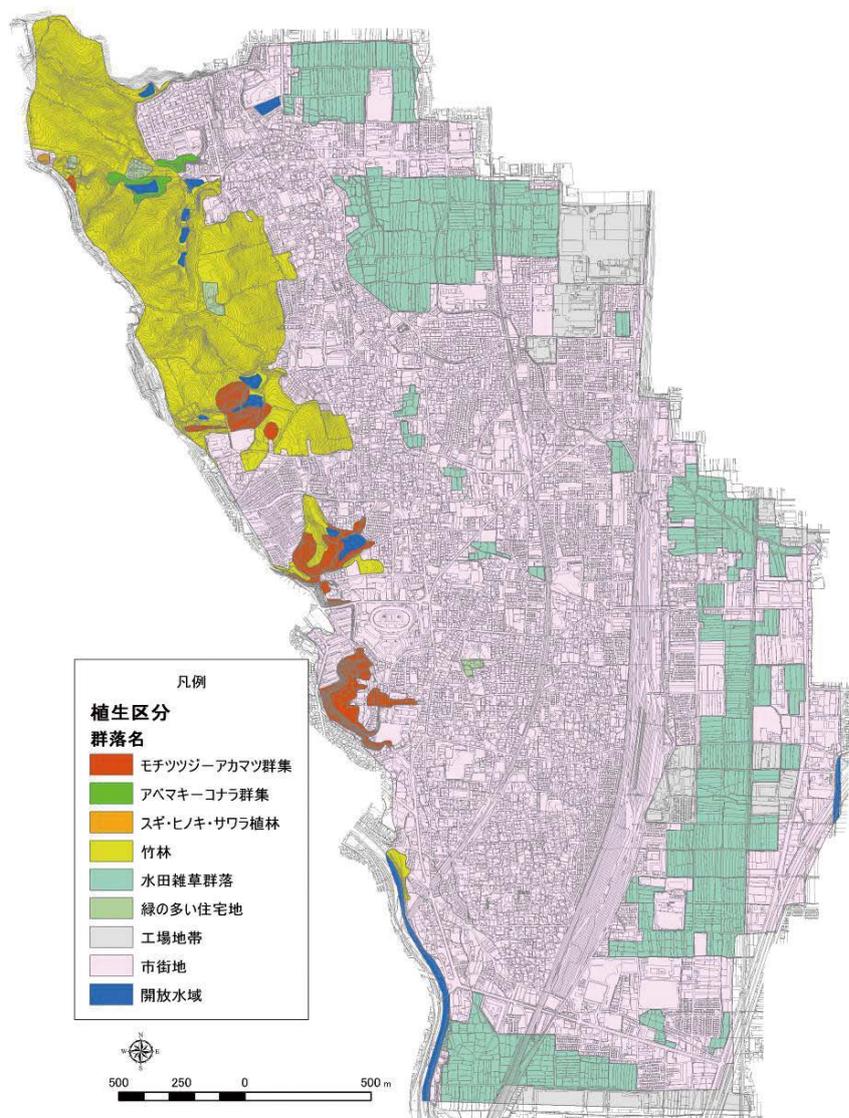


図 2-1-16 現存植生図

出典：第 6・7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 環境省 平成 16 年作成

③ 身近な自然環境

西ノ岡丘陵には広範囲にわたって竹林が広がっており、本市ならではの独特の自然景観を形成しています。市は「歴史と緑の散策の径ネットワーク」づくりに取り組んでおり、その一環として、「竹の径」やトリムコースなどの竹林道を整備しています。



竹の径